

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 脳波による脳内メカニズムに基づいた音声合成技術の創発

2. 研究代表者： 吉村 奈津江（東京科学大学 情報理工学院 教授）

3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本研究課題では、自分が聞いた音や思い出した音を脳波から再現することを目指すものである。フェーズ1では人間の患者で脳内電極を使って計測した手法と脳波計測した手法の比較という貴重な研究成果を出している。生理学的な実験をしているため研究に時間がかかっており成果の出版が間に合っていないが、フェーズ2に向けて必要な成果は得られていると期待する。

フェーズ2では高いゴールを設定しているが、早い段階で達成できるマイルストーンを応用も見据えつつ考えて進めることが望まれる。脳内音声の表現には独自性があると考え、その有効性を含め、具体的に難聴者等に役立つ知見を得る方針をより明確化していくことが望まれる。最終的な目標は脳内音声の明瞭な再現かもしれないが、その途中でも、この技術を使って様々な役に立つ到達点はあるように思える。完璧でなくても何ができれば世の中にインパクトがあるのかを考えて、良いマイルストーンを設定することを期待する。

以上